

## 第2節

### 環境教育・環境学習の推進

#### 1 環境教育・環境学習の拠点施設の活用

##### 1-1 三重県環境学習情報センターの充実

県民に開かれた環境教育・学習・情報発信の拠点として研修機能、情報提供、展示啓発機能等を整備し、子どもから大人まで幅広く利用できる拠点施設として活用・充実に努めています。

図4-2-1 三重県環境学習情報センターでの環境教育に関する主な業務内容

#### 業務の柱

- ①持続可能な社会の構築のため、実践的な行動を促す環境教育・環境学習
- ②環境保全活動のパートナーシップの推進
- ③人と情報のグローバルなネットワークの構築

#### 主な業務

- ・展示コーナーやライブラリーコーナーの整備、活用
- ・参加、体験型の環境講座、体験教室、交流事業等の実施
- ・地域の活動リーダーや環境学習指導者等の養成
- ・環境教育のためのプログラム開発、調査研究
- ・ホームページ「三重の環境と森林」を活用した環境教育に係る情報の発信
- ・県民、ボランティア団体、企業とのネットワーク化

##### 1-2 地域にある環境資源を活かした環境教育施設の整備

###### (1) 宮川流域エコミュージアム事業の推進

宮川流域エコミュージアム事業は、宮川流域ルネッサンスがめざす「人と自然の共生」のシンボルプロジェクトです。

この事業では、流域案内人の人たちが、宮川流域がもつ様々な魅力（自然、歴史、文化、産業、暮らし等）を、地域の人や訪れた人に紹介しています。

宮川流域ルネッサンス協議会及び宮川流域交流館では、流域案内人が企画するイベントや宮川流域の情報を提供しています。

表4-2-1 宮川流域エコミュージアム関連施設一覧

施設名	HPアドレス	所在地
宮川流域ルネッサンス協議会	<a href="http://www.miyarune.jp/">http://www.miyarune.jp/</a>	伊勢市
宮川流域交流館 たいき	<a href="http://miyarune.cool.ne.jp/taiki/">http://miyarune.cool.ne.jp/taiki/</a>	大紀町
宮川流域交流館 わたらい	未設置	度会町

###### (2) ビジターセンターの整備

ビジターセンター（博物展示施設）では、自然公園の地形、地質、動物、植物、歴史等を公園利用者が容易に理解できるよう解説又は実物標本、模型、写真、映像、図表などを用いた展示を行っています。

表4-2-2 ビジターセンター一覧表

自然公園名	施設名	所在地
伊勢志摩国立公園	鳥羽ビジターセンター	鳥羽市
	登茂山ビジターセンター	志摩市
	横山ビジターセンター	志摩市
鈴鹿国定公園	藤原岳自然科学館	いなべ市

## 2 環境教育・環境学習の充実

### 2-1 学校・社会における環境教育・学習の推進

#### (1) 環境教育・学習の推進

三重県では、三重県環境保全活動・環境教育基本方針に基づき、三重県環境学習情報センターを環境学習基幹施設として、環境教育・学習を推進するとともに、学校教育・社会教育の場においても、環境教育・学習を推進し、環境月間行事・緑化運動などを通じて、環境保全思想の普及啓発に努めています。

表4-2-3 環境教育・学習の状況（平成18年度）

区分	内容
参加型環境学習講座の開催	環境学習情報センター講座及び出前講座「大気・水質チェック教室」、「ごみ・リサイクル講座」や夏休みの「こども環境講座」など67講座を開講しました。
環境教育資材の貸出	環境啓発用パネルや、環境学習用キットの貸出しをしました。
環境学習指導者の養成	環境学習指導者養成講座として「プロジェクトワイルド（米国の環境教育指導法）エドゥケーター養成講座」、「インタープリター養成講座」、「みえ環境学習セミナー」などを開講しました。 また、専門講座として「地球温暖化防止講座」、「資源循環講座」、指導者養成講座の修了者を対象とした「環境学習指導者養成実践講座」を開講しました。
その他	市町等が実施する環境フェア等への啓発パネル等の貸出や出展参加を行いました。 県内小中高等学校等の社会見学受入れや環境体験学習を112団体に実施しました。 県内小中高等学校等の授業や公民館、企業、市民団体の学習会などへの出前講座を84回実施しました。

## 第4章 自主・協働による環境保全活動の促進

### (2) こどもエコクラブ活動支援

こどもエコクラブ活動は、次世代を担う子どもたちの将来にわたる環境保全への高い意識を醸成し、環境への負荷の少ない持続可能な社会を構築するため、平成7（1995）年6月から環境省により始められました。県内でも環境の保全に関する取組を行う意志を有する幼児から高校生が、それぞれの地域でこどもエコクラブを結成し、環境に対する理解を深めるための学習・研究活動や美化活動、リサイクル活動などの実践運動に自主的に取り組んでいます。

こうしたこどもエコクラブ活動を定着させるとともにその活用をさらに推進するため、各クラブのメンバー・サポーターを対象とした交流会や活動を支える市町担当職員を対象とした研修会を開催するなど、こどもエコクラブ活動を支援しています。

平成18(2006)年度の会員数は、206クラブ3,687人となりました。

### イ 県立学校における環境マネジメントの取組

平成13(2001)年度から県立学校の2校において、ISO14001 認証の維持を図っており、先進的な環境教育及び環境保全活動を実施しています。

また、その取組等を踏まえ、平成17(2005)年4月から、他の全ての県立学校で簡易な「県立学校環境マネジメント」を実施し、環境教育及び環境保全活動の充実を図っています。

### 2-2 環境教育に係る情報ネットワークづくり

環境教育を効果的かつ円滑に推進していくため、人材データベースとして、「地球環境を伝える人」をインターネットで提供し、環境教育に関する情報の周知を図っています。

表4-2-4 交流会、研修会の実施状況

区 分	期 日	内 容
こどもエコクラブ 市町担当者研修会	平成18年 4月26日	市町コーディネーター 研修 参加者18人
Mie ちびっこ エコ王国大会	平成18年 7月29-30日	環境体験コーナー・リサイ クル工作など 参加者2,400人 (子ども科学体験教室2006と 同時開催)
子どもエコクラブ 県内交流会 in 明和	平成18年 10月28日	環境体験学習(明和町で開催) 参加者108人

### (3) 身近な環境問題への取組の推進

県内の幼・小・中・高等学校及び特別支援学校では、身近な地域の環境問題の学習や豊かな自然環境のなかでの様々な体験活動を通して、自然の大切さを学ぶとともに、家庭・地域社会や民間団体との連携を深め、環境保全に関するボランティア活動などを進めています。

#### ア 「学校環境デー」の取組

「学校環境デー」(6月5日)を中心とした時期に、各学校が創意工夫した活動を行うことを通して環境教育に取り組む気運をさらに高め、よりよい環境づくりや環境に配慮した望ましい行動がとれる児童生徒の育成を図っています。

## 4章2節